

令和3年度主要な事業の実施状況報告

1 法人運営事業

1. 理事会、評議員会、監事監査の開催状況

期 日	場 所	内 容
5月19日	老人福祉センター椿荘	令和2年度監事監査
5月28日	※決議の省略 (書面による同意)	第1回理事会 議案10件： 一般会計第2次補正予算の承認 事業報告 一般会計決算の承認 諸規程の一部改正 理事候補者の承認 監事候補者の承認 定時評議員会の招集の決定 評議員候補者の推薦 評議員選任・解任委員の補充選任 評議員選任・解任委員会の決議の省略実施
5月31日	※決議の省略 (書面による同意)	第1回評議員選任・解任委員会 議案1件： 評議員の選任
6月14日	文化会館フォルテ カルチャールーム	定時評議員会（第1回） 議案5件： 一般会計第2次補正予算の承認 事業報告 一般会計決算の承認 理事の選任 監事の選任 第2回理事会 議案1件： 会長、副会長、専務理事の選定
9月15日	※決議の省略 (書面による同意)	第3回理事会 議案1件： 諸規程等の一部改正

3月15日	文化会館フォルテ カルチャールーム	第4回理事会 議案9件： 専決処分（諸規程等の一部改正） 一般会計第1次補正予算の承認 定款の一部改正 育児・介護休業等に関する規定の一部改正 事業計画 一般会計予算 評議員会の招集の決定 評議員の補充候補者の推薦 評議員選任・解任委員会の召集の決定 第2回評議員選任・解任委員会 議案2件： 評議員選任・解任委員会委員長の選任 評議員の補充選任
3月25日	文化会館フォルテ カルチャールーム	第2回評議員会 議案4件： 一般会計1次補正予算 定款の一部改正 事業計画 一般会計予算

2. 会員の加入状況

区 分	会 員 数	金 額
	件	円
普通会員（年間300円以上）	9,046	5,275,318
特別会員（年間3,000円以上）	377	1,518,100
合 計	9,423	6,793,418

3. 野々市市社会福祉法人連絡会

期 日	対 象	内 容
準備会		
4月28日 7月15日 8月19日	市内社会福祉法人 18法人	野々市市内の社会福祉法人の組織化を図り、住民と共に地域の福祉ニーズの解決のため、それぞれの専門性を活かしながら、連携して地域公益活動に取り組むことで、地域福祉の増進に寄与することを目的とし、連絡会設立に向け必要な事項を協議した。(オンライン開催含む) 一法人として参加の他、連絡会事務局として支援を行った。
設立総会		
10月18日	市内社会福祉法人 18法人 来賓	来賓(市長・県社協専務理事)の臨席の元、市内全ての法人代表者が参加し、総会を開催した。目的等の共有や会則・役員・計画等の決定を行い、法人連絡会を設立した。 また、合同で連携した地域公益事に取り組みフードドライブを実施した。
運営委員会		
1月13日 2月25日	市内社会福祉法人 18法人	それぞれの地域公益事業を共有し、事業執行に係る具体的内容について協議、連携して地域公益活動ができるよう事務局として支援を行った。
市内社会福祉法人の地域公益活動事業の支援		
主催法人 エンジェル保育園	協力法人 ヴィテン保育園、県百々鶴荘、富樫苑 コロナ禍でも子どもと高齢者が交流が持てるようオンライン交流会を検討。協力法人の調整、支援を行った。	
主催法人 野々市市社会福祉協議会	協力法人 幼保連携型認定こども園和光、ほりうち保育園 コロナ禍で孤立化するひとり暮らし高齢者のため、会食会にオンラインで交流を図るため支援、準備。まん延防止措置のため事業は延期した。	

2 地域福祉活動の推進

1. ふるさと味めぐり

期 日	場 所	内 容	参加人数
6月 日	老人福祉センター椿荘	ボランティアの協力により、交流予定をしていた。 (協力：生活学校)	中止

2. ひとり暮らし高齢者生きがい交流事業

期 日	場 所	内 容	参加人数
7月 日 10月 日		ひとり暮らし高齢者の仲間づくり、交流を目的として予定していた。	中止

3. フードドライブ・フードパントリー

期 日	対象者	内 容
6月26日 8月11日 10月30日 12月13日 1月29日	学生 ひとり親家庭 外国籍および学生 ひとり親家庭 学生	市民より食品の寄付を募り、市内ひとり暮らしの学生および市内ひとり親家庭の方々を対象に無料配布会を開催した。(協力団体：野々市生活学校など) 対象人数：延べ593世帯

4. 自宅療養者等応援パック事業

期 日	対象人数	内 容
2月1日 ～3月31日	1,352名	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者および濃厚接触者の自宅に食料品等を配送し、自宅待機期間中の食支援を行った。

3 ふれあい活動の推進

1. 福祉ミニフェスティバル

期 日	場 所	内 容	
9月 日	各地区	ボランティア活動されている方々を中心に、お年寄りと子どもたちとの世代間交流やボランティア活動の発表を通して、住民相互の助け合いや交流の輪を広げ、共に支え合う地域社会づくりをめざす予定をしていた。	中止

2. ふれあい豆まき大会（児童館と共催）

期 日	場 所	内 容	参加人数
1月 日	中央児童館	節分の由来や意味を聞き、お年寄りと子どもたちで豆まきや交流を目的として予定をしていた。	中止

3. ふれあいペタンク大会（児童館と共催）

期 日	場 所	内 容	
3月 日	中央児童館	お年寄りと子どもたちが、ペタンクを通じて交流を目的として予定をしていた。	中止

4. 障害者スポーツ交流大会

期 日	場 所	内 容	参加人数
1 1 月 日	市民体育館	障害者の社会参加と健常者との交流を目的として予定をしていた。	中止
2 月 3 日	野々市市役所 (オンライン)	障害者スポーツ交流大会の代替として、オンラインで会場と市内福祉事業所をつなぐ交流会の開催を予定していた。	中止

5. ふれあい事業

(1) 暑中見舞いハガキづくり (児童館と共催)

期 日	場 所	内 容	対象人数
7 月	(協力) 本町児童館 つばきクラブ アクティ8 すがはらクラブ たちのクラブ こうさぎクラブ ふじひらクラブ ふじひらにじろクラブ カメラクラブ あわだクラブ 学童クラブ和光 コスモキッズたちの 野々市中学校	市内のひとり暮らし高齢者へ、本町児童館、放課後児童クラブの児童が書いた暑中見舞いのハガキを送った。 野々市中学校からの申出により、市内高齢者施設(9か所)に暑中見舞いのメッセージ(11枚)を送った。	人 500

(2) 年賀状づくり

期 日	場 所	内 容	対象人数
1 2 月	(協力) 野々市中学校 布水中学校 つばきクラブ アクティ8 すがはらクラブ たちのクラブ こうさぎクラブ ふじひらクラブ ふじひらにいろクラブ カメラクラブ あわだクラブ 学童クラブ和光 コスモキッズたちの	市内のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯に、明るいお正月を迎えていただこうと、放課後児童クラブの児童や野々市中学校や布水中学校の生徒がイラストやメッセージを添えた年賀状を送った。 野々市中学校（11枚）、布水中学校（4枚）の作成した年賀メッセージを市内高齢者施設（10か所）に送った。	人 500

4 総合相談事業

1. 心配ごと相談

内 容	場 所	相談日数	相談件数
法律相談 偶数月第1木曜日 相談員（金沢弁護士会）	社会福祉協議会 （福祉総務課分室）	6 日	23 件
一般相談 毎週木曜日 社協職員		43 日	1 件

2. 福祉サービスに関する苦情解決

福祉サービスの利用者からの苦情に対して、利用者の権利を擁護する観点から、苦情を密室化せず、社会性、客観性を確保した適切な解決を図るため、3名の委員を配置している。

3. 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

新規相談 件数	プラン作成 申込件数	内 容
227 件	49 件	生活困窮者が抱える複合的な課題に早期かつ包括的に対応する相談窓口を設置し、関係機関との連携のもと、課題解決に向けた支援を計画的に行う。

4. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

相談延件数	決定人数	決定件数	内 容
件 6 4 9	人 2 8 1	件 4 6 8	低所得世帯、障害者世帯、および高齢者世帯に対し、民生委員を通じ必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進、加えて在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようになることを目的とした制度であり、生活資金の融資あっせんをおこなう。 令和2年3月23日受付開始のコロナ特例資金の相談、申請対応含む。

5. 福祉サービス利用支援事業

相談件数	契約件数	解約件数	利用者数	生活支援員数	内 容
件 5	件 1	件 1	人 1 3	人 9	判断能力の低下した高齢者や障害者が、地域で安心して日常生活を営むことができるよう、福祉サービスの利用や金銭管理、書類の預かり等の支援を計画的に行う。

5 広報、啓発活動の推進

1. 野々市市社会福祉功労者表彰贈呈式

期 日	場 所	内 容	参加人数
1 1 月 3 日	文化会館フォルテ 大ホール	地域福祉に功労のあった者及び社会福祉施設・事業所における永年勤続者に対して、本会が感謝の意を表し、その功を称えることにより地域福祉の推進及び社会福祉サービスの向上に資することを目的とする。 ・社会福祉功労者表彰（39名）	人 約 6 0

2. 「ののいち社会福祉」発行

発 行 日	発 行 回 数	配 布 先
6 月 1 日 1 2 月 1 日 3 月 1 日	年 3 回	世帯 2 4, 2 4 2 (全戸配布)

6 ボランティア活動への援助

1. ボランティア連絡協議会

加盟団体数	参加人数	内 容 等
団体 1 2	中止	2 月 5 日 白山・野々市地域ボランティア連絡会交流会
	中止	2 月 5 日 野々市市ボランティア連絡会交流会

2. 災害ボランティアパネル展示会

期 日	場 所	内 容
11月12日 ～19日	カミーノ 市民活動交流サロン	一般市民の防災意識を高め、被災地支援活動に関心を持ってもらえるよう市民が集まりやすく目の届きやすい場所に災害ボランティアのパネル写真を展示した。 (パネル借用：白山野々市ボランティア会)

3. ボランティア団体活動の育成

団 体 名	内 容
食生活改善推進協議会、人形劇サークルくるりんぱ、女性協議会、手話サークルすずらん、コール・あい、のぼらの会、けやき野苑、ボランティア探検隊飛鳥、生活学校、レクリエーション協会、野菊の会、歌謡舞踊サークル椿の会	ボランティア活動を実施している団体・グループに、福祉への関心と思いやりの心を持っていただき、社会福祉に寄与する活動を支援した。(12団体)

4. ボランティア活動保険への加入促進

団 体 数	加 入 者 総 数
44団体 17個人	人 1,752

5. ボランティア登録促進

登 録 者 総 数
人 2,245

7 社会福祉団体等の育成

1. 社会福祉団体

団 体 名	会 員 数	事 業 費
	人	千円
民生委員児童委員協議会	99	745
老人クラブ連合会	883	
遺族連合会	127	(民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会
身体障害者福祉協議会	58	は、市より補助 6団体)
母子会	42	
手をつなぐ育成会	48	

2. 福祉協力校及び協力園

団 体 機 関 名 等
高等学校 1 校、中学校 2 校、小学校 5 校、保育園・認定こども園 14 園（辞退 2 園）
・ 県立野々市明倫高等学校 ・ 市立野々市中学校、市立布水中学校 ・ 市立野々市小学校、市立御園小学校、市立富陽小学校、市立館野小学校、市立菅原小学校 ・ 市立富奥保育園、市立押野保育園、市立御経塚保育園、市立あすなろ保育園、市立中央保育園、法人はくさん保育園、法人つばき保育園、法人幼保連携型認定こども園和光幼保連携型認定こども園エンジェル保育園、法人ふじひら保育園、ほりうちこども園認定こども園アリスこども園、あわだこども園、認定こども園ほのみこども園

3. 障害者理解促進研修・啓発事業

（1）ふくし体験事業

期 日	場 所	内 容	参 加 者
11月 4日 1月20日 12月15日	菅原小学校 同 上 野々市小学校	当事者による日常生活の講話、車いすバスケット体験などを総合授業「福祉」の一環として行った。	児童 324 名

（2）野々市市理解促進・啓発のための障害者施設等製品物産展及び活動紹介パネル展

期 日	場 所	内 容	参 加 者
10月27日	無印良品 明倫通り店	障害福祉サービス事業の活動を知る機会や利用者自らが関わった製品を販売する機会を確保し、障害への理解や障害のある方の地域生活の支援等を目的に販売会とパネル展示会を行った。	約 80 名

（3）野々市市障害者理解促進・啓発のための障害者作品展

期 日	場 所	内 容	参 加 者
3月17日 ～18日	学びの杜 ののいちカレード	障害への理解や障害のある方々の文化・芸術活動の振興、社会参加の促進を目的に作品展を行った。	約 120 名

8 援助活動の推進

1. 共同募金事業

募 金 名	件 数	金 額
	件	円
赤い羽根共同募金	6 6 3	8 6 3, 7 8 0
歳末たすけあい募金	7, 7 6 0	7, 6 5 2, 0 1 4

2. 歳末たすけあい事業

(1) 慰問

期 日	対象者数	内 容
	名	
1 2 月 2 3 日	6 9 2	市内ひとり暮らし登録者および避難行動要支援者名簿登録者、ののいち自立生活サポートセンター利用者へ民生委員児童委員の協力を得てご芳志を届けた。

(2) お餅の配布

期 日	対象者数	内 容
	世帯	
1 2 月 2 3 日	1 3 7	市内一人親世帯（フードパントリー利用者）へ歳末たすけあい慰問に併せお正月のお餅をお渡しした。

(3) 公募制補助事業

期 日	採択団体	内 容
	団体	
1 2 月 1 日 ～ 3 月 3 1 日	1 3	市内や町内会の支え合いや地域共生社会づくりにつながる活動を支援することを目的に公募申請のあった団体に対し補助金を交付した。

3. 基金・寄付

(1) 社会福祉事業基金

件 数	寄 附 金 額 等	基 金 総 額
件	円	円
4	2 0, 0 0 0	1 2 7, 3 4 9, 9 0 7

(2) 法人運営事業・地域福祉事業への寄付

件 数	寄 附 金 額 等
件	円
1 5	2 9 7, 6 5 3

9 地域福祉活動計画の推進

1. 評価委員会

期 日	場 所	内 容
8月23日	オンライン	第2期計画の進捗状況について

2. 各協働を推進する取り組みの活動状況

ちよいボラ

期 日	場 所	内 容
4月19日	野々市市役所	第1回 会議 1. 第3回ぞうきん配布報告 2. 令和2年度振り返り 3. 令和3年度活動について
4月23日	野々市市役所	第2回 会議 1. 花の苗を施設に届けるボランティアについて 2. 「ウエス・ぞうきんを作ろう」について
7月15日	いきがいセンター矢作	リーダー会議 1. ぞうきん・ウエスの経過報告 2. 「花いっぱいプロジェクト（仮）」について
9月17日	椿荘	リーダー会議 1. ぞうきん配布について 2. 今後の活動について
10月22日		ぞうきん・ウエス配布のアンケート実施
11月29日	椿荘	臨時会議 1. ぞうきん・ウエスの配布について 2. 今後の活動について
12月6日	市内こども園、福祉事業所など	ぞうきん・ウエスの配布 配 布 先：26施設 配布合計：1,600枚 活動者数：4名

まちかどサポーター

期 日	場 所	内 容
6月10日	オンライン	第1回 会議 1. 前回の振り返り 2. まちサポだより（第4号）の内容確認 3. まちサポだより（第5号）について 4. 今後の活動について
9月9日	オンライン	第2回 会議 1. 前回の振り返り 2. まちサポだより（第5号）の内容確認 3. まちサポだより（第6号）について
12月2日	市役所	第3回 会議 1. 前回の振り返り 2. まちサポだより（第6号）の内容確認 3. まちサポだより（第7号）について 4. 今後の活動について
3月10日	オンライン	第4回 会議 1. 前回の振り返り 2. まちサポだより（第7号）の内容確認 3. まちサポだより（第8号）について

集う場

期 日	場 所	内 容
4月22日	丸木農園	第1回 会議 1. プランター部について
5月7日	丸木農園	第2回 作業 1. プランター部打合せ 2. 植付け準備
5月26日	堀内農園	第3回 作業 1. 土づくり（耕し） 2. 植付け
5月27日	丸木農園	第4回 作業 1. プランター植付け
7月17日	堀内農園	第5回 交流会（母子会参加） 1. ジャガイモ掘り
9月29日	堀内農園	第6回 作業 1. ジャガイモ掘り準備
10月9日	堀内農園	第7回 交流会（母子会参加） 1. サツマイモ掘り
3月25日	堀内農園	第8回 作業 1. 土づくり（耕し）

10 在宅介護事業

1. 訪問介護事業（ヘルパー派遣事業）

実利用者数	回数	内 容
人 936	回 9,745	ホームヘルパーが家庭を訪問して身体介護や生活援助サービスを提供し、自立支援を図った。

2. 居宅介護支援事業（ケアプラン作成事業）

実利用者数	内 容
人 1,829	介護保険の理念に基づき、可能な限り自立した生活を送れるように利用者及び家族とともに話し合い、必要とする居宅サービス計画を作成し、日常生活の支援を図った。

3. 常勤・登録ヘルパー活動状況

登録人数	実活動人数	年間活動時間	一ヶ月平均時間
人 21 (常勤 3) (登録 18)	人 延べ 237	時間 10,499	時間 875

4. 障害者支援費事業

実利用者数	回数	内 容
人 89	件 782	障害者及び障害児が在宅において日常生活を営むことができるよう、ガイドヘルパーやホームヘルパーの派遣を行った。

5. 産後安心ヘルパー派遣事業（受託事業）

内 容	延べ利用者数
産婦の体調不良等により育児又は家事が困難な家庭にヘルパーを派遣し、産婦の子育て支援を図った。	人 11

6. 障害者相談支援事業

相談延件数	計画相談 契約者数	内 容
件 374	人 15	障害児・者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談等対応やサービス等利用計画等の作成を行う。

1 1 福祉施設の管理事業

1. 福祉課分室（社会福祉協議会事務局）

会議室の利用状況

日 数	延べ利用件数	内 容
日 2 4 2		社会福祉協議会の事務所として利用。また、会議室を福祉団体に開放（職員の勤務時間中）

※コロナ感染症対策として令和2年4月14日より相談業務を会議室へと移し、会議等については開催せず。

2. 老人福祉センター椿荘

（1）施設利用状況

開館日数	延べ利用者人数	一日平均延べ人数
日 2 3 1	人 1 3, 8 5 5	人 6 0. 0
開湯日数	開湯延べ人数	開湯一日延べ人数
日 1 1 6	人 1 1, 6 9 9	人 1 0 0. 9

（2）事業実施状況

（趣味）

教室開設数	延べ回数	延べ受講者人数	内 容
教室 6	件 1 5 5	人 8 3 4	手芸、詩吟、書道、茶道、折紙 大正琴

（健康）

教室開設数	延べ回数	延べ受講者人数	内 容
教室 2	件 1 5	人 8 4	体操教室 (若葉会、季がさね)

（3）施設慰問（ボランティア）状況

団体数（延べ数）	人 数	内 容
団体 2	人 2 7	清掃活動

（4）バス運行状況（延べ年間利用人数）

運行日数	押野、本町 コース	栗田、新庄 コース	郷、御経塚 コース	合 計 (延べ人数)	一日平均延べ 人数
日 1 1 6	人 5 2 2	人 2 8 6	人 7 9 7	人 1, 6 0 5	人 1 3. 8

3. いきがいセンター矢作

(1) 施設管理状況

※令和3年12月1日よりいきがいセンター御経塚と統合したため、11月末日までの実績

開館日数	登録者数	延べ利用者 人 数	1日利用者 人 数	内 容
日 163	人 25	人 1,082	人 6.6	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、各種サービスを提供することで自立の助長を図った。

(2) 地区別延べ利用者数

本 町	富 奥	郷	押 野	合 計
人 426	人 615	人 1	人 40	人 1,082

(3) ボランティア受け入れ状況（年間延べ件数）

団体数（延べ回数）	個人（延べ回数）

※新型コロナウイルス感染症対応として受け入れせず

4. いきがいセンター御経塚

(1) 施設管理状況

開館日数	登録者数	延べ利用 人 数	1日利用者 人 数	内 容
日 241	人 40	人 2,104	人 8.7	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、各種サービスを提供することで自立の助長を図った。

(2) 地区別延べ利用者数

本 町	富 奥	郷	押 野	合 計
人 371	人 511	人 687	人 535	人 2,104

(3) ボランティア受け入れ状況（年間延べ件数）

団体数（延べ回数）	個人（延べ回数）

※新型コロナウイルス感染症対応として受け入れせず